

三嶺の森の再生を目指したボランティア等によるシカ防護ネットを設置しました

平成 30 年 10 月 17 日
高知中部森林管理署

去る 10 月 13 日、秋晴れの下、当署と「三嶺の森をまもるみんなの会」の主催により、三嶺山系の西熊山 32 林班に小班（通称「カンカケ谷」）周辺において、植生回復と森の再生を目的に、ボランティアによるシカ食害防護ネットの設置作業を実施しました。

この活動は、平成 19 年度から実施しており、既に 30 回を超え、延べ 3 千人を上回るボランティアに参加頂く、息の長い活動として定着しています。

当日は、ヒカリ石登山口から現地まで徒歩で片道約一時間半にもかかわらず、親子連れを始め、遠くは隣の町からの参加者に加え、高知県、香美市の各職員、高知県立高知農業高校の生徒を含め、74 名のボランティアに参加頂き、局・署職員 16 名を合わせ、総勢 90 名での作業となりました。

現地に到着した参加者は、登山の疲れをものともせず二箇所に分かれ、当署職員等の指導を受けながら、総延長 367 メートルの防護ネットを設置するとともに、併せて、既設のネット内の植生調査を行いました。

今回の参加者全員が「カンカケ谷」周辺の植生が少しずつ回復しつつあることを確認できたことにより、今までの活動の成果を実感頂いたものと考えています。

今後も多くの方と協力しながらシカの食害から三嶺の森を守る活動を続けていきたいと思えます。

